

## ルナティック

この記事は、米ボウリング雑誌『Bowlers Journal International』の許可を得て、翻訳・掲載しております。本記事の著作権は発行元の Luby Publishing Inc.に帰属し、許可なく転載・複写・転送等することは禁止されております。

This translation of article is provided by DAIFUKU QubicaAMF under the permission of Luby Publishing Inc. Copying/Duplicating/Modifying of this article without the permission by Luby Publishing Inc is prohibited.

☉ ボウラーズ ジャーナル インターナショナル

2009年7月号より

### ボールデータ

カバーストック	S53 ソリッドリアクティブ
コア	クレイジーコーン[対称]
カラー	ブラック/イエローオレンジ
表面仕上げ	ポリッシュ
慣性(RG)	2.55
フレアポテンシャル	△RG 0.045
コンディション	ミディアム
重さ	12-16 ポンド



**コア** … このクレイジーコーンコアは RG2.55/△RG.045/フレア幅5インチの対称コアです。フロントは適度に走り、ミッドレーン後半から徐々に回転スピードが上がっていきます。我々のテストで一番良いリアクションを得られたのは、4インチと5.5インチのレイアウトです。

**カバーストック** … カバーはイエローとブラックのミックスで、箱出し状態ではポリッシュされています。マニアックの S50 よりもやや強めの S53 です。ドライでの反応は適度に早めです。オイル上の摩擦も中程度です。

**メーカーのコンセプト** … 900 グローバルのエリック・トーマス曰く“コアは、フレアポテンシャルはクリーチャーと同じくらいですが、RG(2.55)は高めになっています。ミドルプライスの価格帯で、抜き出したパフォーマンスと汎用性を持ち合わせたボールをボウラーに提供すべくこのボールを開発しました。このコアとカバーのコンボを見れば、ボウラーはきっとこのパフォーマンスをミッドプライスで提供しようとする我々のことを正気ではないと思うかもしれません。”

**テスト結果** … ルナティックはミディアムコンディション用のミディアムフックボールです。このボールに一番近いのはマニアックですが、マニアックはやや早め&大きめに曲がります(S50 カバーの 1000 番サンディングの場合)。その一方で、ルナティックはバウンティやブレイクシリーズのようなオイル系グループの下に属します。しかし、リンクシリーズよりも強く

反応し、大きくフックします。

**推奨コンディション** … ルナティックは、平均的なオイル長のミディアムレーンでもっとも威力を発揮しました。その軌道は、アンギュラーというよりよく“転がる”感じです。これらのミディアムパターンでは 20 のところから適度なスキッドと戻りを得ることができました。ヘビーコンディションでは、この価格帯から選ぶとすればマニアックの方が合っているようでした。不思議なことに、1000 番でラフに仕上げた場合、ルナティックはマニアックよりも板目 1～2 枚大きく曲がりました。ライト&ショートパターンでは、5.5 インチと 6.25 インチのレイアウトが一番よく、十分なスキッドとバックエンドパワーが出ました。